

3607 欧州 18 カ国の旅：サンティアゴ巡礼の道

西暦 813 年、キリスト十二使徒の一人、聖ヤコブ（スペイン語はサンティアゴ）の墓を発見、伝説は、パレスチナで処刑された遺体が二人の弟子と共にガリシア州に流れ着き、その後、変遷を経て、この地がキリスト教の聖地になったと。



大聖堂・サンティアゴ・デ・コンポステラ

ローマやエルサレム同様、世界各地から多くの人々が、罪の赦しを得るために、
星降る道、銀河の道を進み、サンティアゴ・デ・コンポステラへ。
世界遺産のサンティアゴ巡礼の道は、精神的、文化的、かつ歴史的に意味合いを持つとの事。

太陽と星に導かれて大地を移動する人々の流れを、詩人ダンテは「巡礼」と命名。

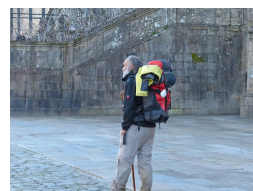
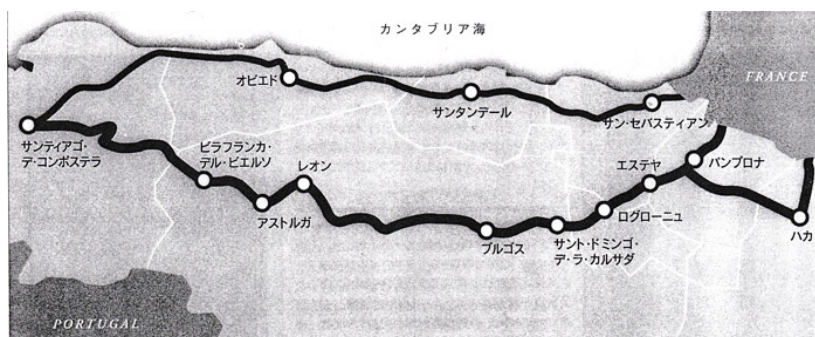
7月25日の聖ヤコブの日が日曜日にあたる年には**大祭**が執り行われ、
その周期は、6年、5年、6年、11年、次回は**2021年**。前回は2010年だったとのこと。
2021年は、11年ぶりになり、大いに盛りあがるのではないかと。

巡礼者は、自分自身を見つめるために旅に出るとの事。長い道中、その思いを込めて、ヨーロッパ文化の中心であるサンティアゴ・デ・コンポステラの聖ヤコブの祭壇に向けて歩き続ける。

結果、あらゆる困難に耐えて巡礼を成し遂げた者を暖かく迎えること。

この説明の出典は、スペイン政府観光局の資料から。

ブルゴスの大聖堂、各地の修道院や教会などの建築物も見事なもの。



私も車と歩きでの訪問だったが、海側、山側、往復走破の体験者。今回はピンポイントで訪問。ルートは後日心模様。翌朝、大聖堂前で、出会った巡礼者。きっと達成感だろう、素敵に輝いた顔。満足感かも。私まで嬉しくなった。